



データで捉える地域課題・地域経済2021

Analyzing regional issues and economics by data in 2021

研究テーマ

- 温泉街における外食市場調査
- 「食事付き旅館」「別荘地」の存在
→特殊な業態構成ではないか?
(=車移動が主)
- 業態別の市場規模を把握する
- 温泉街における理想的な業態比を推計する

内容・方法

- ②、消費者単価
の経済効果算出のため
- カダイビングショップオーナーに聞き取り
- グショップの駐車場の車の数、ナンバープレートの属性調査のため

研究テーマ

- ◎研究機関が地域にもたらす経済波及効果
- ◎つくば市の産業連関表の作成

平成23年度容器包装リサイクル回収率

プラスチック容器包装廃棄物は、容器包装リサイクル法にて自治体が分別回収をすることに。
→実際は回収を実施していない自治体も

- ・包装廃棄物：15%（沖縄県）～100%（富山）
- 現状では各市町村で実施状況が大きく異なる
- ・総回収量 646,842 t
- ・実施率 61%

イオンモール京都桂川の基本情報を確認する

イオンモール京都桂川-桂川駅の概要

- 開業日 2014年10月17日
- 所在地 京都府向日市 向日駅
- 敷地面積約27万㎡、延床面積214万㎡、総投資額約77億円(17階)
- 客数 約400人(2021年2月)
- 従業員 3100人、9-CIE 2400人、業務棟中心 600人

店舗概要

- 開業日 2008年(平成20年)10月18日
- 所在地 京大東区 京大東駅-向日町駅
- 所在地 京大東区 京大東駅-向日町駅
- 従業員 15,874人(障害者等含まず)(2019年)

研究テーマ
プロ野球開催に伴う横浜スタジアム周辺の飲食店への経済効果

- ・コロナウイルスによる観客数の大幅な減少
- 2021年 725,858人
- 2019年 2,283,524人
- 約3分の1の観客数

地域経済への多様なアプローチ Diverse approaches to the local economy

当プロジェクトでは、各グループに分かれ、地域の各アクターとも連携しながらプロジェクトを運営している。多様な研究を行っているため、様々な成果がでていいる。そうした成果を、中間報告会、最終報告会という形で持ち寄り意見交換しながら進めている

氏川グループは、横浜市内での経済・企業・環境に関する情報について、春学期は主としてオンラインで検証しつつ、横浜市の経済において、各企業やその環境対応に関する各種のエビデンスを明らかにすることにつとめた。池島グループでは、これまで取り組んできたテーマ「農業の地域循環、経済の地域循環」を踏まえ、第一に、農と食に関する資源循環を取り上げ、食料残渣を活用した堆肥化、その堆肥化を利用した農産物生産、その農産物を利用した飲食店経営といったサイクルに伴う資源循環と経済循環を測定しました。第二に、箱根町の「産業の多様性」を測定したうえで、宿泊事業と飲食事業、交通事業の連携の可能性を通じた新しい産業育成のアイデアを提起した。相馬グループは、三つの班に分かれ、「ワークライフバランスとワークライフインテグレーションはジェンダーを平等に貢献するか」、「ポストコロナ時代の日本型ICT教育」、「コロナ禍における学校給食と貧困児童に対する影響分析」について各班で実状の課題から様々な検証を行なっている。居城グループは、地域経済における様々な事象に対し、推計やアンケート、統計を取り、考察していった。その中で、お互いに質問や意見をぶつけていくことで、個人では得ることのできなかつた手法や結果、考察を生み出した。

- 学生：64名 担当教員：相馬直子、氏川恵次、池島祥文、居城琢
- 連携・協力：横浜市政策局 関口昌幸様